

文部科学省科学研究費助成事業「新学術領域研究」平成 29～令和 3 年度

分子合成オンデマンドを実現する ハイブリッド触媒系の創製

領域略称名「ハイブリッド触媒」 領域番号 2907 <http://hybridcatalysis.jp/>

目次

・トピックス

- ・ 会合開催報告
- ・ 業績・報道・活動などの紹介
- ・ 班員所属変更

📌 トピックス

・ 会合開催報告

【新学術領域研究 後半キックオフ（兼・第5回リトリート）開催報告】

新学術領域研究 後半キックオフ（兼・第5回リトリート）が令和2年4月27日にZoom Meetingで開催されました（非公開内容のため、プログラム詳細については割愛）。

金井領域代表の挨拶の後、令和2年度より新たに加わった公募班員を含む44名が持ち時間各2分程度でこれまでの成果および今後の研究計画を発表し、領域内共同研究の契機となる情報交換がもたらされました。その後、班員への諸連絡と、北泰行評価委員からのコメントを頂きました。

・ 受賞・表彰

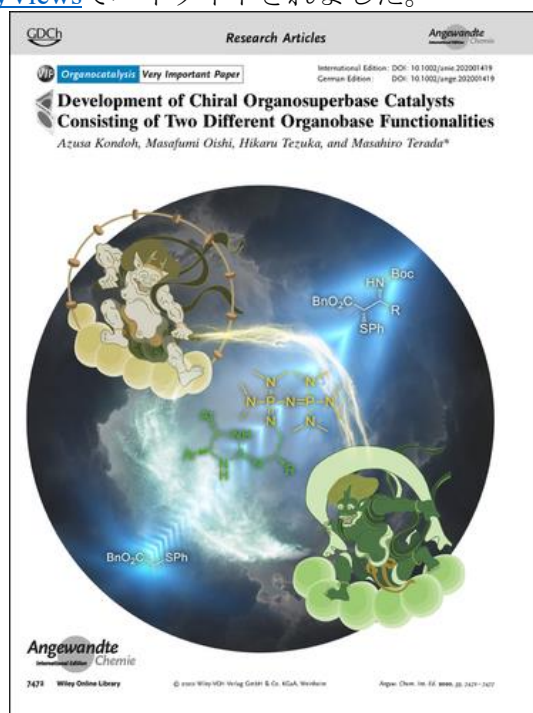
・ 近藤梓 准教授（東北大理・A02協力）が文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞
受賞業績：「植物の葉緑体に学ぶ金属錯体の開発」

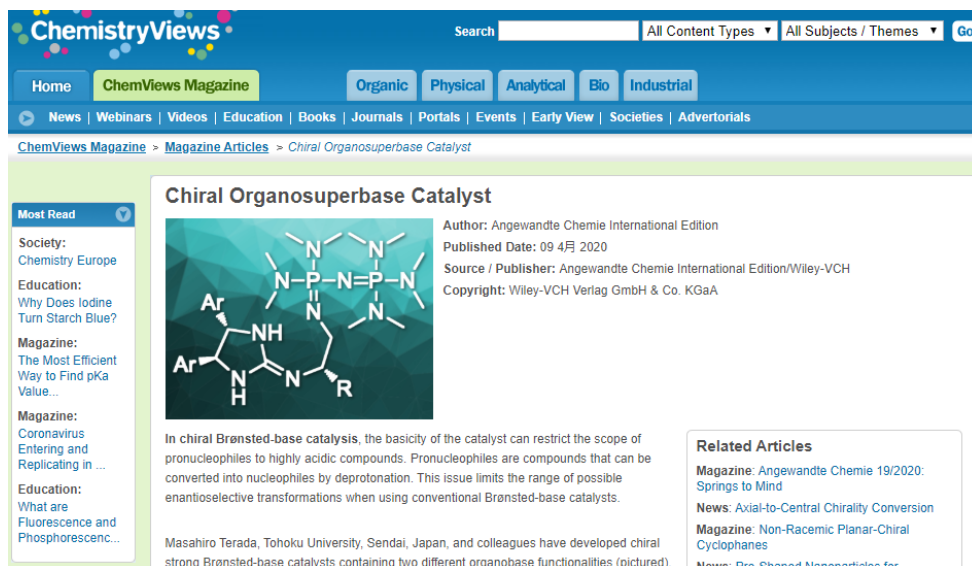
本賞は優れた業績を挙げた若手の日本人研究者を毎年3名ほどに贈呈される「ミニ・ノーベル賞」とも言える科学賞で、1995（平成7）年に創設されました。

・ 業績・報道・活動などの紹介

【表紙掲載、メディア・学会誌・二次媒体でのハイライト記事】

・ 寺田眞浩 教授（東北大理・A02）による研究成果（*Angew. Chem. Int. Ed.* **2020**, *59*, 7472）が [Frontispecies](#)、[ChemistryViews](#) でハイライトされました。





ChemistryViews Search [] All Content Types All Subjects / Themes Go

Home ChemViews Magazine Organic Physical Analytical Bio Industrial

News | Webinars | Videos | Education | Books | Journals | Portals | Events | Early View | Societies | Advertorials

ChemViews Magazine > Magazine Articles > Chiral Organosuperbase Catalyst

Chiral Organosuperbase Catalyst

Author: Angewandte Chemie International Edition
Published Date: 09 4月 2020
Source / Publisher: Angewandte Chemie International Edition/Wiley-VCH
Copyright: Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KGaA

In chiral Brønsted-base catalysis, the basicity of the catalyst can restrict the scope of pronucleophiles to highly acidic compounds. Pronucleophiles are compounds that can be converted into nucleophiles by deprotonation. This issue limits the range of possible enantioselective transformations when using conventional Brønsted-base catalysts.

Masahiro Terada, Tohoku University, Sendai, Japan, and colleagues have developed chiral strong Brønsted-base catalysts containing two different organobase functionalities (pictured).

Related Articles
Magazine: Angewandte Chemie 19/2020: Springs to Mind
News: Axial-to-Central Chirality Conversion
Magazine: Non-Racemic Planar-Chiral Cyclophanes
News: Pre-Shaped Nanoparticles for

・寺田眞浩 教授（東北大理・A02）による研究成果（*J. Am. Chem. Soc.* **2020**, *142*, 3724）が [Chem-Station](#) でハイライトされました。



ホーム > スポットライトリサーチ, 化学者のつづやき > ウレートを強塩基性官能基として利用したキラルブレンステッド塩基触媒の創製

[スポンサーリンク]

スポットライトリサーチ

注目情報

ピックアップ記事

世界が終わる日までビスマス

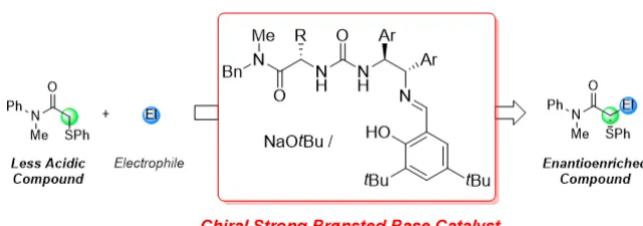
蒼鉛のビスマス

2012/6/27

『国際化学オリンピック』日本代表が決定

ウレートを強塩基性官能基として利用したキラルブレンステッド塩基触媒の創製

2020/4/6 | スポットライトリサーチ, 化学者のつづやき | JACS, 不斉触媒, 有機合成, 有機触媒 | コメント: 0 コメント | 投稿者: cosine



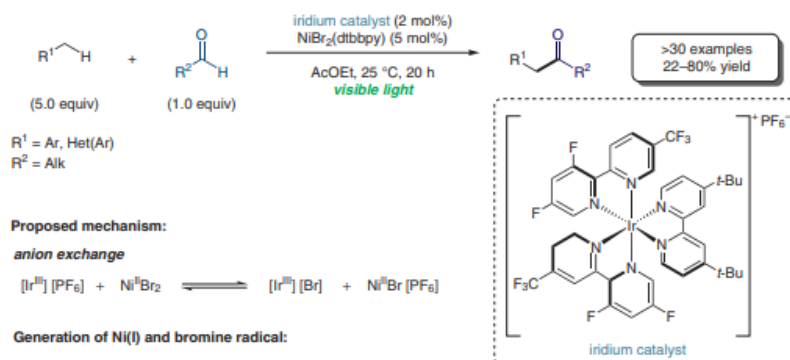
 Less Acidic Compound + Electrophile $\xrightarrow{\text{NaOtBu / Chiral Strong Brønsted Base Catalyst}}$ Enantioenriched Compound

・石田直樹 講師（京大工・A01）による研究成果（*J. Am. Chem. Soc.* **2020**, *142*, 3366）が *Synfacts*誌でハイライトされました(*Synfacts* **2020**, *16*, 436)。

Category
Metals in Synthesis
Key words
photoredox catalysis
nickel catalysis
C-H activation

T. KAWASAKI, N. ISHIDA*, M. MURAKAMI* (KYOTO UNIVERSITY, JAPAN)
Dehydrogenative Coupling of Benzylic and Aldehydic C-H Bonds
J. Am. Chem. Soc. **2020**, *142*, 3366–3370.

Photoredox-Catalyzed Benzylic C-H Activation and Coupling with Aldehydes



- 丸岡啓二 教授（京大院薬・A03）・加納太一准教授（京大院理・A03）による研究成果（*Eur. J. Org. Chem.*, **2020**, 2028）が[Cover Picture](#)に選定されました。



- 林雄二郎 教授（東北大院理・A03）による研究成果（*Chem. Eur. J.* **2020**, *26*, 4524）が[Front Cover](#)に選定されました。



・ 班員所属変更

- ・ 畑中美穂 (A01) が、慶應義塾大学理工学部化学科・准教授に着任しました。
- ・ 田村正純 (A01) が、大阪市立大学先端研究院・人工光合成研究センター・准教授に着任しました。
- ・ 小野田晃 (A02) が、北海道大学大学院地球環境科学研究院・物質機能科学部門・教授に着任しました。
- ・ 西形孝司 (A02) が、山口大学工学部応用化学科・教授に着任しました。
- ・ 山口滋 (A02) が、理化学研究所・環境資源科学研究センター・上級研究員に着任しました。

発行・企画編集 新学術領域研究「ハイブリッド触媒」 <http://hybridcatalysis.jp/>
連絡先 領域代表 金井 求 (hybrid_catalysis@mol.f.u-tokyo.ac.jp)